



2025年9月29日

各位

会社名 株式会社オールアバウト  
代表者名 代表取締役社長 江幡 哲也  
(コード番号 2454 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役 森田 恭弘  
(TEL 03-6362-1300)

### 2026年3月期第1四半期決算に関する質疑応答(要旨)

2026年3月期第1四半期決算発表(2025年8月7日)後に、株主・投資家の皆さまからいただいた主なお問い合わせやご質問とその回答について、下記の通り開示いたします。

なお、回答内容については時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性があります。直近の回答内容を最新の当社方針としております。

Q1: 第1四半期の業績は前期比増収増益ということでしたが、計画に対する進捗はどうでしょうか?

A1: 当第1四半期は、売上高・各利益段階において期初計画を上回り、好調なスタートとなりました。また、今後の売上高に反映される先行指標であるグローバルマーケティング事業の受注が良好であるのもよい傾向です。下記にありますようにメディアの動向等不透明な要素を勘案しつつ、長期的な目線で「PrimeAd」のような先行投資を行いながら、通期業績予想の達成に向けて運営してまいります。

Q2: メディアの収益環境と今後の戦略について教えてください。

A2: 検索エンジンのアルゴリズム変更やAIによる情報提供の進化により、当社の運営する総合情報サイト「All About」のセッション数は減少傾向にあり、セッション数をベースとする広告収益にとってネガティブな状況と認識しています。こうした環境のもと、セッション数の維持・向上やセッションあたり単価の向上に取り組むほか、従来の広告収益に依存しない新たな収益モデルの構築を急いでおります。既にマネー分野では「All About ライフカレッジ」や「All About 家計相談所」といった、ユーザー個別の課題に取り組むサービスに着手しており、今後、メディアを起点としながらも、ユーザーの行動支援に関与する多様なソリューションを提供することで事業の成長を目指します。

Q3: 「PrimeAd」の現状と今後の見通しについて教えてください。

A3: 広告業界の売り手と買い手をつなぐビジネスマッチングプラットフォーム「PrimeAd BMP」としてスタートした「PrimeAd」事業は、現在、広告業界における様々な業務のDX化を支援するサービスとしての「PrimeAd One」へと業容を拡張しています。目下、大手代理店を中心に活用事例が増加しているほか、売り手であるサプライヤーが、従来のデジタルメディアからインフルエンサーやサイネージ(タクシー広告など)、イベントなどへと多様化しております。引き続き、さらなる機能強化と導入拡大を進め、早期の事業黒字化を目指してまいります。

- Q4： コンシューマサービス事業について、第1四半期の状況と好調だった要因を教えてください。
- A4： サンプル百貨店、dショッピングともに好調に推移しました。  
サンプル百貨店では、商品調達の増加と適切な価格設定が奏功し、粗利益率を改善したことが主な要因です。また、前第1四半期に生じていたコロナ禍明け反動減の状況をベースとした商品や集客の積み上げも前期比増収増益の要因となっています。  
dショッピングでは、NTTドコモ様と協同する販促施策が活発化したことにより、流通額が大きく伸長しました。
- Q5： 新たに子会社化した「みらいバンク」の買収目的と今後のシナジーについて教えてください。
- A5： みらいバンクは、住信SBIネット銀行が提供している「BaaS」(Banking as a Service)の提携先として、一般に向けて「みらいバンク」ブランドでフルバンキングサービスを提供することのできる金融サービス事業者です。  
現在は、住宅ローンの販売手数料収入が主な収益源ですが、当社グループが長年のメディア事業やコマース事業、マーケティングソリューション事業に携わるなかで培ってきたユーザー基盤や、不動産関連事業者、金融事業者等のクライアントネットワーク基盤を活用し、住宅ローンの取り扱いをさらに増やしていくことを目論んでいます。  
先々は、Q&Aの2にありますように、当社メディアによる情報提供から具体的な行動支援、その後の管理まで含めて、ユーザーの皆さまの一連の行動に深く関与するサービスを提供したいと考えており、そこに、みらいバンクが持つ金融サービス機能を融合させることでユーザーの利便性が高まり、当社にとっても新たな収益機会を創出できるものと期待しています。

以上

- ・本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、マクロ環境や業界動向等により変動することがございます。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- ・これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動等、一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- ・投資判断を行う際は、必ず当社が開示している資料をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

#### 株式会社オールアバウト

🖥️ 企業サイト <https://corp.allabout.co.jp>

📄 IR情報 <https://corp.allabout.co.jp/ir/>

📺 2026年3月期第1四半期決算説明動画は[こちら](#)

📄 2026年3月期第1四半期決算説明の書き起こしは[こちら](#)

IR情報▶

